



腰越漁港



新設した岸壁からの風景
～しらすびき漁船と富士山～

鎌倉市

腰越漁港改修整備工事について

平成19年9月に着工した腰越漁港改修整備工事が完成しました。

この工事では、新たな防波堤を既存漁港の南側に築造し、泊地の整備と漁業活動用地の拡充を図りました。また、神戸川沿いの防砂堤を拡幅・延長し、旧防波堤と接続させることにより、市民の方も利用できる展望スペースを設けました。

この整備を機に、漁業活動の場だけではなく、訪れる人々の憩いの場となる漁港をめざします。



稚魚放流



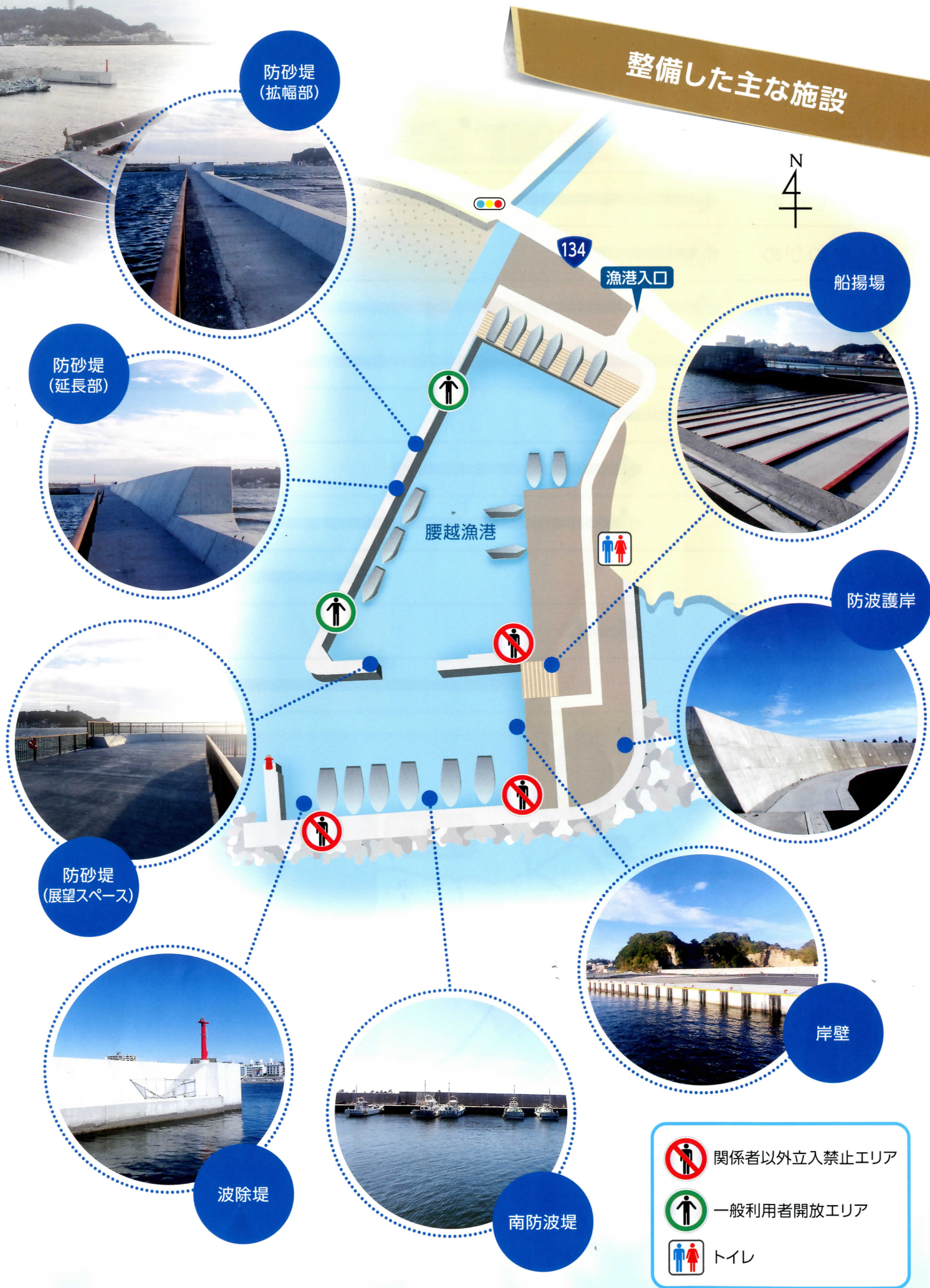
船祝い



漁業・漁港の沿革

腰越地区では、昔から漁業が営まれ、江戸時代になると「鎌倉六ヶ浦」のひとつとして、江戸城などへ魚を献上していました。昭和初期には定置網が行われ、その後、はえ縄漁や沖合でのかつお一本釣り等を展開しました。現在は、しらす船びき網、わかめ養殖、小型定置網などの沿岸漁業が主体となっています。

腰越漁港は、昭和31年から39年にかけて基本施設を整備し、昭和39年10月に開港しました。その後、数回にわたり漁港機能向上のため、改修工事が行われてきましたが、施設の老朽化及び狭あい化が顕著となったため、平成19年度に、水産庁から漁村再生交付金による事業採択を受け、改修整備に着手し、平成26年8月に完成しました。



整備した主な施設

防砂堤 (拡幅部)

防砂堤 (延長部)

防砂堤 (展望スペース)

波除堤

南防波堤

岸壁

防波護岸

船揚場

- 関係者以外立入禁止エリア
- 一般利用者開放エリア
- トイレ

